

授業情報				
開講年度 2025年度		開講箇所	大学院教育学研究科	
科目名 数学科教育研究演習(D-2)(高木)				
担当教員 高木 悟				
学期曜日時限 秋学期 01:木6時限				
科目区分 演習(教科教育)・教科内容学		配当年次	1年以上	単位数 2
使用教室		キャンパス	早稲田	
科目キー 372B210403		科目クラスコード	02	
授業で使用する言語 日本語				
授業方法区分 【対面】ハイブリッド(対面回数半数以上)				
コース・コード EDUX782S				
大分野名称 教育学				
中分野名称 教育学				
小分野名称 その他				
レベル 博士レベル		授業形態	演習／ゼミ	

シラバス情報					
授業概要	春学期の「数学科教育研究演習(D-1)」に続き、教育情報工学に関する新しい研究課題についての演習を行なう。特に、ファジ理論やラフ集合理論、テスト理論を応用した教育情報の分析法、その応用法に関する研究を行なう。対面(zoom中継あり)とオンライン(zoomのリアルタイム形式)を併用する。				
授業の到達目標	ファジ理論やラフ集合理論、テスト理論を応用した教育情報分析について深く理解し、基礎理論・応用理論を研究することが可能となる。				
事前・事後学習の内容	関連する最新の研究論文を決め、毎回セミナー形式で演習を行なう。セミナーで発表するための準備に3時間程度を要する。				
授業計画	#1～#14. 教育情報工学演習				
教科書	受講者と相談して決める。				
参考文献	「ファジ理論 基礎と応用」 山下元監修 瀧澤武信編著 共立出版 「ラフ集合と感性」 森典彦他著 海文堂出版 「Rough Sets: Theoretical Aspects Of Reasoning About Data」 Z. Pawlak著 Springer				
成績評価方法	<table><tr><td>割合</td><td>評価基準</td></tr><tr><td colspan="2">平常点評価: 100% 発表・発表の準備・討論の態度などで評価する。</td></tr></table>	割合	評価基準	平常点評価: 100% 発表・発表の準備・討論の態度などで評価する。	
割合	評価基準				
平常点評価: 100% 発表・発表の準備・討論の態度などで評価する。					